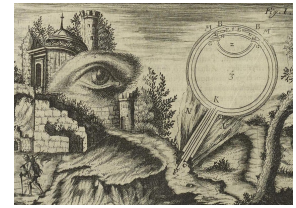


DEBORAH KLOCHKO

/ デボラ・クロチコ

Director Emeritus—Museum of Photographic Arts
[サンディエゴアート写真美術館 名誉館長](#)



Johann Zahn, 1685

2006年から2023年までローレンス・S・フリードマン写真美術館エグゼクティブ・ディレクター兼チーフ・キュレーター。写真に関する教育、講演、執筆活動を幅広く行い、そのキャリアを通じて35以上の展覧会をキュレーションしてきた。受賞歴のあるビジュアル・カルチャー誌『See』のエグゼクティブ・エディターであり、『Speaking of Light』の創刊者でもある：『オーラル・ヒストリーズ・オブ・アメリカン・フォトグラファー』の創刊者でもある。アンセル・アダムス・センターにある「ザ・フレンズ・オブ・フォトグラフィー」のディレクターを務めた後、カリフォルニア写真美術館、ニューヨーク州ロチェスターのジョージ・イーストマン・ハウス国際写真フィルム美術館、ワシントンD.C.の米国議会図書館版画・写真部門に勤務。

教育者、館長、学芸員として写真美術館で40年以上の経験を持つ。写真、フィルム、ビデオの展示、収集、保存を通して、可能な限り幅広い観客にインスピレーションを与え、教育し、参加させるという美術館の遺産を牽引した。

魅力的な展覧会を開催するだけでなく、一枚ずつ画像を読み取る方法を人々に教えることで、私たちのコミュニティを変えた。インスピレーションを与え、教育し、魅了することが彼女の3つの行動のトップである。クロチコ氏は、写真を定義づける革新の伝統を継承しながら、ストーリーを語る情熱と才能を持っている。



